



# 学校だより 5月号

横浜市立日吉南小学校

令和8年5月1日

## チームのひよみなの底力

～ 地域・家庭・学校で支える子どもたち ～

校長 栗原 信一

令和8年度も始業式・入学式からスタートし、早くも一か月が過ぎようとしています。子どもたちは、新しいクラスや友達、先生との学校生活にも少しずつ慣れ、元気に学校生活を送っています。

さて、今年度はFIFAサッカーワールドカップ北中米大会(アメリカ・カナダ・メキシコ)が開催される年でもあります。小学生の頃からサッカーに親しんできた私にとって、ワールドカップは四年に一度の大きな楽しみの一つです。どのような試合、どのようなドラマが待っているのでしょうか。今からとてもわくわくしています。そんな日本代表を率いる森保一監督は、かつて日本代表選手として活躍されていました。森保選手は、決して目立つタイプではありませんでしたが、献身的なプレーでチームを支え、「相手の攻撃の芽を摘み取る選手」と評されていました。得点を挙げるスター選手がいる一方で、仲間のために走り、支える選手がいる。そのような一人ひとりの役割が合わさり、チームは力を発揮するのだということを、森保選手は、プレーを通して体現していたように思います。そんな森保監督の下、前回の2022年のワールドカップにおいて日本代表は世界の強豪国に挑み、チーム一丸となって勝利をつかみ取ったことは記憶に新しいところです。インタビューの中で森保監督が語った「全員でつかみ取った勝利です。」という言葉は、今も心に残っています。選手も裏方も、サポーターも、そして日本サッカーに関わる全ての人々に感謝

を伝えていた森保監督の人柄に感動を覚えるとともに、同世代でもある森保監督をますます応援したくなりました。そして一人ひとりが自分の役割を果たし、支え合うことの大切さを教えられたように思います。

これは、学校も同じだと思います。学校もまた、一つのチームです。地域・保護者の皆様、そして学校がそれぞれの立場で子どもたちを支え、つながることで、学校はよりよい場所になっていきます。うまくいかないときこそ、「どうすれば子どもたちのためになるのか」を共に考え、前に進んでいく事が大切だと思います。本校は、日頃から地域や保護者の皆様に温かく見守られ、支えていただいています。毎朝、子どもたちの安全を見守ってくださる学援隊の皆様、地域の力を学校教育につないでくださる学校・地域コーディネーターの皆様、子どもたちの活動を支援してくださるひよみなパートナーや支援員の皆様、そしていつも子どもたちの立場で考え、支援してくださる保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

そんな皆様とのつながりを大切にしながら、「チームひよみな」を合言葉に学校運営に努めていきたいと思っています。

ワールドカップの年にあたり、森保ジャパンを一つの手本として、素敵な「チームひよみな」をつくり上げていきたいと考えています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

新緑の5月。今月もよろしくお願いいたします。

## ひよみなの情報は学校ホームページからどうぞ!



本校では、積極的な情報発信に努めてまいります。日々の学校の様子、子どもたちのがんばり等を適時お伝えしていきたいと思っています。そして地域・保護者のみなさんの安心とさらなる学校理解につなげていきたいと思っています。

ご覧いただければ幸いです。学校ホームページ →

